

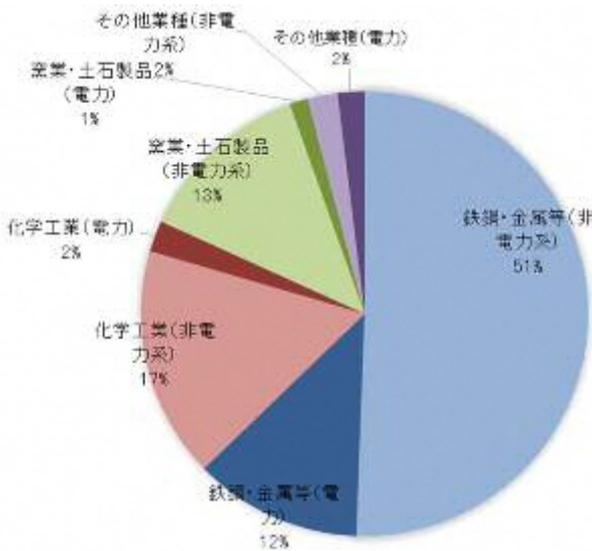
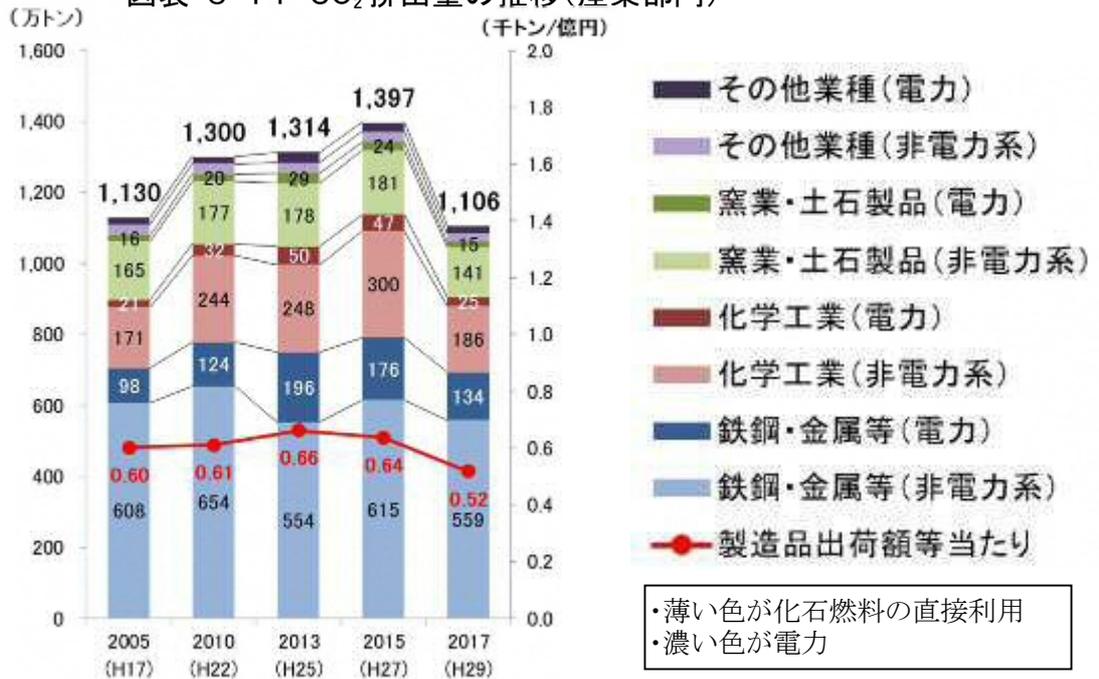


(4) 産業部門

① CO₂の排出状況

産業部門では、鉄鋼業・化学工業・窯業といった素材型産業からの排出が多い状況です。また、家庭や業務部門と異なり、電力利用ではなく、化石燃料の直接利用による CO₂ の排出が大半を占めており、どのようにして熱需要をまかなうかが特に重要となります。

図表 6-14 CO₂ 排出量の推移(産業部門)



2017年度のCO₂排出量の割合(業種別)

CO₂の排出のうち、全体の6割を鉄鋼業・金属業等が占め、次に化学工業、3位が窯業・土石製品となっています。

上位3業種におけるCO₂排出量の内訳は、電力による排出量が1~2割程度、化石燃料の排出量が8~9割程度です。



② 取組みの方向性

社会経済活動を支えるエネルギーの脱炭素化に向けて、洋上風力を中心とした再生可能エネルギーの最大導入や、その普及につなげるための蓄電システムなど安価で安定的な供給体制の構築に向けた取組みを進めます。

また、産業界や大学と連携して、脱炭素化に必要な研究開発を加速させ、イノベーションの早期実現を後押しして、「環境と経済の好循環」を生み出すための取組みを推進します。

「エネルギーの脱炭素化」・「環境と経済の好循環」

省エネ(事業活動の省エネ化)

電化+電源の脱炭素化

洋上風力・蓄電池・水素の普及

イノベーションの早期実現